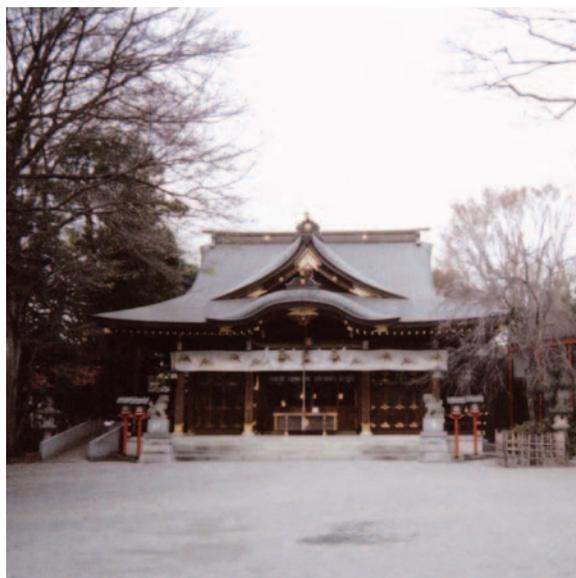


kanagawa

2010.1.VOL.339

コンテンツ

- 建築探訪（県央ブロック）
- 年頭ご挨拶
- 年男の初夢
- 委員長会報告
- 理事会報告
- 年末合同役員会報告
- 神奈川建築コンクール：一般建築物部門
神事協受賞作品
- シリーズ 名経営者の建築と風水（1）
- 神事協 歌壇・俳壇
- 神事協サロン 開催報告
- 趣味の広場
- 賛助会フェア 開催報告



HP情報

- 「建築確認のための基準総則・集団規定の適用事例」及び「構造・設備設計一級建築士の資格等の確認方法」講習会のご案内
- 「法適合確認に際して行う記名・押印／構造設計図書・設備設計図書に関する留意事項（運用解説版）」のポイント解説を追加しました
- 「法適合確認に際して行う記名・押印／構造設計図書・設備設計図書に関する留意事項（運用解説版）」が、一般社団法人新・建築士制度普及協会のHPに掲載されました。
- 「民間(旧四会)連合協定 工事請負契約約款の解説」及び「四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約約款の解説」の正誤表について
- 「長期優良住宅普及促進事業」の補助金交付申請受付期間の延長について



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

鈴鹿明神社

海老名支部 杉崎 雅治



「古事記」に伊邪那美命が国土をはじめ水神・土神など多くの神々を産んだとされ、その時に左目から天照大神様、右目から月読命、鼻から須佐之男命が生まれ櫛稲田姫命を妻とされた。

御神徳伊邪那岐命、伊邪那美命は天神七代の最後の神で、我が国初の夫婦神で天照大御神、



月読命、須佐之男命の三貴子が産まれた。

旧座間市役所正面に位置し、伊邪那岐命と須佐之男命の神様を祀り古くから国家安泰、家内安全、子孫繁栄の神社として市民に親しまれている。

鈴鹿神社は天王様と呼ばれ全国の他の多くの神社と同じように、京都の八坂神社を本管とし須佐之男命を祀る祇園信仰の神社であり、本殿と礼堂が一体の構造になっている。また神仏習合の特徴が各所に見つげられた。

境内地は、前方後円境の形をしていたと言いつたが、現在では地形高低さから推測できる程度である。参道が真北をさして入るので、あるいは古境があったと考えられるのかも知れない。境内は遠い昔から

人々が神と人の出会いの場所であり、人々が境内に集まり憩いの場所としていたのではなかろうか。

現在の本殿、社務所、神楽殿は1982年～1993年で新築、増築をして、本殿と神楽殿は緩やかなカーブの回廊で描き、途中にバルコニー状の舞台が設置され、聖地を象る玉垣のように前庭の清謐な外部空間を創出している。本殿では挙式、披露宴会場として使用され、境内には親子連れが訪れ、子供たちの楽しそうな声が響いている。

祭礼・・・元旦、歳旦歳、節分祭（2月3日）、例大祭（2月17日）など数々のお祭り、行事が模様される。

場所：座間市入谷1丁目3500番地

交通：小田急線座間駅より徒歩10分位

※資料、写真は設計・監理された厚木支部キタムラ・アソシエイツ様より提供していただきました。

表紙のことば

古き物、新しき物、心のどこかで見えるもの新年の誓いも新たに心静かに詣でましょう。

あけましておめでとうございます。



『年頭挨拶』

会長 上原 伸一

新年あけましておめでとうございます。2010年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は会員の皆様に、多大なるご協力ご支援をいただきありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

構造計算書偽装事件に端を発した一連の法改正の中で、当協会は一年前、改正建築士法による法定団体として大きな役割、責任を担い新たなスタートを切りました。当協会は、建築士事務所が失われた信用を取り戻し、更に社会的地位の向上を目指し、事務所協会による法定団体として団体の自律的監督体制の強化、管理建築士の要件強化、開設者に対する情報開示などのルール強化のほか、建築士事務所の適正な業務報酬基準への対応や一連の法改正の円滑な運用を目指した要望なども引き続き行っていかなくてはなりません。当協

会としては、消費者側の立場になって、関連団体とも連携を深め、私たちへの理解、信頼を得られるように活動を行っていきたくと思っています。

また、当協会ではこの法定団体としての役割を踏まえながら、会員が誇れる魅力ある組織としての協会を目指し、活気ある事業や制度を展開したいと考えています。

私たちは、建物やまちづくりを通じ文化や環境形成を担う大変創造性の高い社会的な業務を行っています。社会のニーズに応え、文化や環境形成に寄与するために、それぞれの資質・能力の向上を図り意義ある事業を進めていき、会員事務所が社会や地域に貢献できるような体制を築き上げていきたいと思っています。

今年も会員の皆様の益々のご支援、ご協力を心からお願いすると共に、皆様にとって実り多い年となりますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



謹んで新年のお慶びを申し上げます

神事協・賛助会

会長 太田 清一郎

皆様方におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

昨年中は私ども賛助会に様々な機会を与您て頂きまして感謝しております。

皆様のご理解、ご配慮によりまして、新しいスキームの中で新たに入会した会員を中心に、積極的な賛助会活動の萌芽を見出しています。

不易流行という言葉がございます。不易は本会の皆様に、より良い技術・商品を提供するスタン

ス、流行は技術革新・改良による価値創造の提供でございます。

提供手段はセミナーや展示会を通じてご理解頂き、設計業務における一層のクオリティの向上と業務効率化の一助になればと考えております。そのために、一社・一社の企業努力と共に組織を挙げて活動し、真のパートナーを目指します。まだまだ組織としての活動は限定的ではございますが、会員一丸となりまして本年も活動いたしますので宜しくご祈念申し上げます。



副会長
吉川 昭

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれまして大きな期待を込めて新年をお迎えのことと存じます。構造偽装を契機に建築士法、建築基準法の改正、リーマンショックによる景気の後退と我々設計事務所の置かれた現状は現在大変な状態であると思います。また、建築基本法に関する構想、建築基準法再改正がささやかれる中我々は、いかに設計業務を営んでゆくのかが非常に大切な時期でもあると感じております。

本会は建築士事務所の業務の適正な運営及び健全な発展並びに建築士事務所の開設者に設計等を委託する建築主の利益を図り、建築文化の向上及び公共の福祉の増進に寄与することを目的とすると定款に明記されております。会員の皆様にとって有益であり魅力ある協会であるため色々な事業活動がなされておりますので、ぜひ活動に参加していただき事務所業務にご活用いただきたいと思います。

平成22年は昨年以上大変な年になるかもしれませんが、こんな年こそ会員皆さんの智恵と協力の下意義ある最高の年にしたいと思います。

本年一年宜しくお願い申し上げます。



副会長
小林 忠志

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様に於かれては新年を迎え御健勝のことにお慶び申し上げます。

構造的な建設不況にあわせて基準法の改正、リーマンショックと設計業界にもなかなか明るい光が差してこない状況の中、会員の皆様もご苦勞なさっていることと思います。

そんな中、神事協も苦しい運営が続いていますが、会員、支部長、理事、委員、事務局の皆様の御協力です。少しづつではありますが、発展していることに感謝申し上げます。

さて、現在の建築関連法規では今後益々設計事務所にとってハイリスクなものになっていくことが予想されます。神事協ではより早い情報の伝達、きめ細かい相談体制を整備して会員の皆様のニーズに応えるべく、会長を中心に役員、事務局、心を一つに頑張っていくつもりです。その為にも会員の増強、退会防止が肝要と考えますので、皆様の絶大なる御協力を御願います。

2

私の初夢は事務所協会の入会の義務化が実現して、日事連加入事務所が二十数万社になり、共済年金、休業補償、繋ぎ資金の融資等が確立され、設計事務所の福利厚生が大企業並となり、若く優秀な建築士が数多く参入して日本の将来の建築文化が希望に輝くものになったというものです。

最後に今年は寅年です。虎は千里を駆けると申しますので、会員の皆様は元より当協会も益々発展することを祈念して新年の挨拶と致します。



副会長
芝 京子

おほぞらに そびえて見ゆる高嶺にも 登ればのぼる道はありける

詠み人 明治天皇

2010年の新春、心新たなる思いでお迎えになられたと思います。

私は、新しい年を迎えますと、不思議と昨年あったつらい事は忘れ、良いことのみが思い出されます。そして、今年ももっと良い事があると毎年信じており、その通りになるような気がします(?)

(社)神奈川県建築士事務所協会の一人ひとりの皆様、昨年も当協会に大変ご協力いただきましてありがとうございました。支部活動はもちろん、様々な講習会、研修会、キャンペーン事業、スポーツ大会、そして支部における地域貢献活動など、それぞれの活発な活動の積み重ねは、(社)神奈川県建築士事務所協会がより活性化された証であると確信しております。各方面でご尽力されました関係者の皆様方には、心から感謝いたします。

建築士法の制定から半世紀が過ぎた昨今、平成維新といっても過言ではない大改正が行われ、関連法律も制定されました。そのような戸惑いの中、政権交代という政治改革も生じ、先行きの不透明感が漂い、大変苦しい経済環境ではありますが、私達は凜とした態度で、建築の各専門分野に秀でた職能を持つ建築士事務所として、明日の日本の建築環境づくりを通し、社会に対し大きな責任を果たさなくてはなりません。

本年も、より魅力ある(社)神奈川県建築士事務所協会に向け、皆様と一緒に活動していきたいと思っております。どうぞよろしく御願致します。

※大空にそびえ立つ高い山、自分には登れそうもないと思われる山でも、一歩づつ歩めば必ず頂まで登る事が出来る。夢や目標を持ちそれに向かって一歩づつ努力すれば、必ず夢は実現するという確信を与えてくれます。

夢は必ず実現する!!



総財務委員長
根岸 光司

「新しい世界を目指して」

あけましておめでとうございます。平成21年の世相を表す漢字は「新」となったようですが、平成22年にこそふさわしいように思います。全てが新しくなる。政治も経済も社会も新しくなる。私たち建築に携わるものにとって、常に無からの創造行為は「新」であったはずなのですが、いつの頃からか「真」に変わってきてしまいました。それは「心」が伴わなくなったからなのではないでしょうか。「新」という言葉は破壊するエネルギーを持っていると思います。新しいものを目指す時に、事物は破壊しながら新しくなっています。破壊を怖がらずに私たち自身が進むことが必要だと思います。既に社会は新しい国造りを選びました。私たちも新しい世界を目指したいと思います。



企画業務委員長
椋 茂廣
がんばってみませんか？

新年を迎えて頑張りましょう

新年明けましておめでとうございます。本年も厳しい1年になりそうですが、この時にこそ落ち着いて考え、知識を蓄える時期ではありませんか。

企画委員会として、新年早々に、契約等に関する講習会を開催させていただきます。

我々、設計事業者として重要で基本的な事柄が満載されております。ユーザーとの設計料の問題でのトラブルが増加しておりますし、ケースによっては、確認取得作業まで行っても、設計と認められない裁判事例が出ております。トラブルに巻き込まれないように、知識を得、知恵を出しましょう。2月に入ると、調査鑑定事務所の講習会でもこの契約問題も取り上げますし、技術委員会でもJASS5の講習会を開催いたします。



技術調査委員長
西倉 哲夫

本年も講習会にご参加を

皆様、明けましておめでとうございます。

平成21年5月27日の決算総会で承認され初めて理事となり、耐震診断業務特別委員会と技術調査委員会の委員長を仰せつかりました。平成21年度と22年度の2年間委員長として皆様のお役に立てるように頑張りたいと思っております。技術調査委員会では本年2月4日（木）に横浜情報文化センターにおいて「JASS5鉄筋コンクリート工事」改定講習会を行います。当日は改定に主査として仕様書改定に係わった宇都宮大学の榊田佳寛先生を講師に招いてご後援をお願いする予定になっております。神事協会員の皆様におかれましてはこの機会にぜひ参加される事をお勧めいたします。今後の業務にぜひ必要だと思っております。今年も会員の皆様のためになる講習会や見学会を開催したいと考えておりますので積極的な参加を期待しております。本年もよろしくお願い申し上げます。



広報情報委員長
佐藤 光良

会員の交流を深めましょう

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は、恒例の浜離宮恩賜庭園で執り行われる諏訪流放鷹術を水上バスで訪れて初夢の縁起を担ぎました。今年から、神事協歌壇俳壇と称し短歌、俳句、川柳を新連載することになりました。近年俳句が隠れたブームということですが、「KANAGAWA」への文章はどうもというあなたが、たまには会員と交流をしてみたいと思いたしたら是非一句いかがでしょうか。新編集委員体制になり半年が過ぎました。少しずつ内容を変えてきましたが、如何思われましたでしょうか。昨年末広報委員会として初めての神事協サロンを、ガウディをテーマに開催しました。会員の交流の場としてこれらもテーマを見つけ開催していきたいと思っております。

皆様にとりまして素晴らしい一年になります様お祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。



横浜ブロック長
平山 正義

年頭に当たり「本会活動に思う」

横浜支部では、名取支部長と私・平山がブロック長として、2人体制で支部を代表し、活動しています。

支部としては、一昨年のスポーツ大会と昨年の建築士事務所キャンペーンという本会の二つの大きな支部持ち回りイベントを、皆様の協力のもと無事終えることができました。ありがとうございました。

本年は、本来の支部活動に励みつつも、本会活動を、理事をはじめ担当委員会の委員を中心にして、さらに積極的で且つ多数の参加を目指します。同時に、他支部のイベントや活動に対しても、相互に支部からの参加が増えるよう企画・調整役を果たしたいと思っています。また、全国大会への支部参加者が増えるような何らかの企画＝アイデアを打ち出せればと考えています。



川崎ブロック長
白井 勇

年頭の挨拶

新しい年を大変厳しい状況の中迎える事となりましたが、川崎ブロックの活動としては例年同様に活発に事業を進めております。

木造耐震診断、市営住宅保全点検調査、高齢者住宅改造助成事業評価業務等に加えて、市内町内会自治会の会館耐震診断業務も新たに担当する事となり、事業全体としては行政との信頼関係がさらに築けたのではないかと考えています。

また、会員増強活動はじめ、会の活性化の為に活動も各担当部を中心に展開しており、今年も他団体とも連携して建築士や建築設計事務所が社会にとって信頼される存在になるように努めていきたいと思ひます。

“自信をもって”頑張っていく一年にしたいと思ひます。会員の方のさらなる御協力をお願いします。

4



横須賀ブロック長
増田 務

新企画の実現に向かって

横須賀ブロックより委員会に出て、はや2期目任期の最終の年となりました。

会員増強キャンペーンから秋のスポーツ大会となにやらと企画の多い3年間でした。

会員増強は、ブロックとしては会員が増えましたが、横須賀支部としては減り残念な結果になっています。今後は会員増強のために繋がる企画を実現させる必要があります。

会員がふえれば、支部活動も活発になり業務の拡大に繋がると思ひます。昨年、相模原支部主催「住まいるフェスタ」、鎌倉支部主催「仕事展」を見て、横須賀支部のみならず、何か企画し、消費者に対しアピールすることの必要性を痛感しています。

低成長期の中で消費者と同じ目線で建築士事務所の生き方、目指す方向を見出して行く必要があると思ひます。



湘南ブロック長
中村 正昭

物言える団体を目指して

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

一年目のブロック長ですが、昨年は世界経済の混乱により仕事の絶対量の減少で受注にたいへん苦慮し、建築関連法令の改正により講習会講習会とどたばたした一年でした。

そしてさらにドバイショックが重なり米国の失業率が10%超と明るい見透しが立ちそうもありません。

しかし私達はじっとだまって沈んでいる訳にはまいりません。建築事務所協会の皆様と一緒に英知と才覚を出しあい、昨年一年のたちこめる暗雲を一掃し、会員拡大を計り物言える団体として今年一年がより良い明るい年となります様、願ひものです。



中ブロック長
齋藤 清

ら幸いです。

「新年を迎えて思う事」

昨年末の理事会で、「ミスター神事協」とも言える存在で当会のためにご尽力をいただいた大先輩の退会届けを受理したとの報告を受けました。非常に寂しい限りです。この数年の変革には、数々の講習会を制覇しないと業務に携わっていけないのが現実です。建築にあこがれ 学び 国家試験を経て、建築士になり独立開業、なんとか喰っていけるようになり入会しました。諸先輩方に助けられ従業員もでき、経歴も増えました。バブルがはじけ不況の嵐から抜け出せないまま建築士事務所としての峠を下りつつある。ターニングポイントは今年かもしれない。しかし、建築士としての人生はまだまだこれからです。これから建築業界を引っ張っていく建築家のために。夢と希望をもって建築を志す若い人たちのために。何か足跡を残すことができた



県央ブロック長
小幡 秀造

皆様、明けましておめでとうございます。
自分が所属している県央ブロック（大和綾瀬・愛川・厚木・海老名・座間支部）で今年度で2度目のブロック長を引き受けました。当ブロックは各支部長が持ち回りで5年に一度必ず廻ってきますが、この5年間で私は支部長を交代していませんので再度ブロック長の順番が廻ってきました。

ブロックでは年に5回ほどの会議がありますが、これも各支部持ち回りです、昨年度までは出席人数も10人程度でしたが、今年度は前支部長及び前本会委員も出席してもらい平均15人ぐらいの会議をし2回に1度ぐらい懇親会を開催しています。今後とも県央ブロック（各支部長・本会理事・本会委員会委員・前支部長・前本会委員会委員・賛助会員）は仲良く・楽しくいけることを望みます。本会行事の対応と年1度の研修旅行（隔年一泊）を行い、全国大会では必ず参加者全員が懇親を深めます。県央ブロックは会員の為これからも結束し活動をしていくと思います。皆さん、これからもよろしくお願い致します。

5



相模原ブロック長
福永 憲一

新年おめでとうございます。

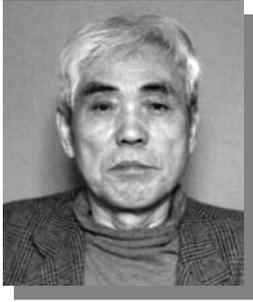
昨年は相模原支部設立30周年記念式典を2月2日に開催致しました。
本会より上原会長をはじめ、他ブロック、他支部の多くの皆様方のご出席を頂き、挙行出来ましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。
また相模原ブロック（相模原支部）は消費者保護の観点から消費者目線の事業を念頭に『安心・安全・快適な家づくり・街づくり』を支部目標に掲げ、11月14日に【建築・住みいるフェスタ】を開催致しました。
本年は建築士事務所のコンサルタント業務に対応した支部事業を展開し、セカンドオピニオン等に信用、信頼の期待を持てる地元の建築技術者団体として認知、評価されるよう頑張っていきたいと思っています。



県西ブロック長
小林 幸一

新年の決意を新たに

平成22年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は県西ブロックの活動に対しまして深いご理解と多大なるご支援を賜り心より御礼申し上げます。昨今のこの厳しい情勢は、建築設計の有り方を改めて問い直すことを「試練と」して我々に与えられたものではないかと感じております。伝承すべき責務と同時に変化を恐れず変革に立ち臨む姿勢も持ち合わせるべきなのでしょう。言うは易し、行動は成り難し。心して取り組まねば・・・。県西ブロックはもとより、神事協の良き発展のために微力ではありますが、本年も尽くす所存でございます。会員の皆様並びに神事協そして事務局の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



昭和13年生まれ
横浜支部 横山 勇気男

六度目の寅年

子供の頃、人生60年を目標としていた私にとって、六度目の寅年を迎えるのは余禄のようなものである。

同年齢の知人たちは、もう引退した人、まだまだ仕事をしている人と様々である。後者に属する私は、激減した仕事と収入に対して、仕事は焦らずマイペース、年金で収入を補っている状態である。

仕事は激減したけれど、その替わり一件あたりにかける設計上の気配りは充分とれるようになり、現場へ足を運ぶ回数も増え、今まで見過ごしていた施工上の問題等も勉強になっている。

少ない仕事で多くの勉強をする……。これが抱負である。



昭和13年生まれ
横浜支部 折田 慶信

静かな挑戦

早いものでもう6回目の年男、長い間いくつかの持病と共生しながら好きな仕事を続けられていることに感謝、感謝です。最近、仕事を始めた頃のことをよく思い出します。

2009年10月26日号日経アーキテクチャーに若手の好きな建築ベスト5が掲載されていました。丹下氏設計の国立代々木競技場が、桂離宮、サグラダ・ファミリア、サヴォア邸、ロンシャンの教会、落水荘等より好まれているのを知りました。1964年東京オリンピックの時に建てられた建築です。設備設計を担当した早大井上研究室の手伝いで、屋根上や競技場内環境調査のため天井中央のキャットウォークから20数メートル下のプール面を見た時の驚きは今でも忘れません。あの頃の建築に対する情熱や気力はありませんが、静寂な心と真摯な気持ちで対峙し続けたいと願っていますが、アナログ人間としてはいつまで続きますか？神のみぞ知る処です。

6



昭和25年生まれ
相模原支部 竹尾 秀一

年男の初夢

新年、明けましておめでとうございます。6回目の干支を向かえ、大きな節目を感じます。生まれた年の干支に戻る、何はともあれ自分にとって全てが変わる年としています。

それは昨年の不況の最中に起業の初年度、新たな倫理との出会いがあり自己研鑽の出直しを感じた時に還暦を迎えました、生まれた年の干支に戻る。それは新たな出発を、人生の生まれ変わる出発点として立ち、5年後社会貢献の出来る会社へ変身、10年後更なる挑戦、そして、20年後ダイヤモンド婚式、妻に感謝し笑顔の対話……。初夢でした。



昭和25年生まれ
平塚支部 新倉 良一

年男の初夢

今年で還暦を迎えます。一般のサラリーマンと違い建築士には定年がありません。働けなくなるまでが定年です。体の調子を見つつ設計活動を、続けてまいたいと思います。

若い時のようにバリバリできませんが、「蓄積、組み合わせの妙」で年輪の味わいを感じさせる設計をしたいと思います。



昭和37年生まれ

川崎支部 吉川 謙司

寅年に思うこと

早いもので、年男になるのも4回目となりました。特にこの一回りは大変早かったように思います。

仕事の面では、阪神大震災以降、耐震診断・補強設計等の仕事が増えましたし、5年前の姉齒事件以降は、建築基準法の改定や確認申請の変更など忙しさは増すばかりです。

丁度、姉齒事件直前に独立をしましたので、いろいろな面で大変でした。

独立してからは、自宅で仕事をしており、会社勤めとは違い1日家にいるようになりました。また、家ではチャトラの猫を飼っており、何故か仕事の机の椅子がお気に入りです。私が少し椅子を空けていると座られてしまい、一級建築士ならぬ肉球建築士として熱心に仕事をしています。

今年は、この仕事熱心な猫に負けないよう頑張っていきたいものです。



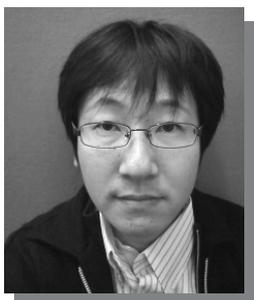
昭和37年生まれ

湘南三浦支部 磯 昭弘

30年目を迎えて

大工であった父の下で大工職人として主に住宅建設に携わりその後、設計事務所を開設して10年、気がつくとその業界に入って今年で30年目となり、若手としてもはやされた時期は過ぎ去り、若手を育成するべき立場になっています。正直いままでは将来に対しての大きな目標に向かって進んできたというよりは、受け身で仕事をしてきたら30年過ぎてしまったという感じでした。しかし、ここ数年は建築業界を問わず不況の話ばかりでしたが、そのような中で私が仕事を続けてこられたのは、諸先輩方の適切なアドバイスやお付き合いさせていただいているクライアント様のおかげと思っています。

今年も建築業界を取り巻く環境は厳しいとは思いますが、今まで以上に人と人の繋がりを大切にして誠実な仕事でこれに答えていきたいと思っています。



昭和49年生まれ

横須賀支部 田中 雅剛

年男の初夢

新年あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願いいたします

トラ年の今年は、景気に明るい兆しが出るよう、初詣に願っていることでしょう。去年は気候変動や地球温暖化問題に関する事に興味が高かったと思います。仕事でも、あまりに多量の降雨になると、現場が心配で寝れなかった事がありました。

学生時代などはやはり、時代の先端を行くデジタル機器などにはピンカンでしたが、最近のテクノロジーの進化についていけない自分がいる事に気付き、決してアナログ人間ではないと思っていたのですが、30代後半・・・加齢臭が漂う年になってきた事を考えると、「メカに弱いオジサン」という風に今時の若者から思われてしまうのかと思うと、複雑な気持ちになります。

しかし！はたして、地球温暖化をテクノロジーで止める事ができるのか？それとも時すでに遅しなのか？

次回の年男の時には答えが出ているかな？

次は48歳。娘も成人。子供達に自慢できるような世の中になるよう努力しよう。



昭和49年生まれ

大和綾瀬支部 青木 哲也

「年男の抱負」

今年の干支である「寅」は、経営する青木工務店にゆかりの深い年廻りです。今年で創業100年の節目を迎えることが出来ました。また初代梅太郎の干支が「寅」、2代目廣吉の干支も「寅」、4代目である私の干支も「寅」。そしてこれまで多くの「寅」生まれの方々に御支援をいただきました。

この仕事の楽しさはモノを造る喜びに他ならないと考えております。マーケティングやニーズ、コンプライアンスと制約事項は多いのですが、苦しかった分だけ出来上がることの喜びは他には味わえないことです。次世代の工務店は材料の選定、設計から施工までの一貫した高い品質で作り上げることと共に、モノ造りや家守り活動を通じて人と人の繋がりを深めて、共に成長をしていくことだと感じております。

委員長会・理事会・年末合同役員会 報告

去る12月10日(木)波止場会館にて委員長会、理事会及び合同役員会が開催されました。

委員長会 (9:30~12:00)

出席者数：17名(会長・副会長・専務理事・各常設委員長・特別委員長・総財務副委員長・ブロック支部副委員長・事務局長・事務局員)

議題：平成22年度各委員会における事業計画に基づく予算案について

内容：各委員長より事業計画及び予算案資料に基づき説明がされた。各委員会の予算と事業内容について活発な意見交換がなされ、修正案については12月28日までに再度事務局長まで提出のこと。

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

第4回・理事会 (13:00~15:30)

出席者数：23名

議事録署名人：佐藤恵・宮下勝實

1.議決事項

(報告事項) 会員の入退会(11月)承認について、協会顧問交代について等

(審議事項) 正会員(12月)の入会について承認を求める件等

2.報告事項

(1)日事連報告

平成22・23年度会長候補者の1次推薦依頼について

(2)各委員会報告

前回の理事会以降に開催された各委員会活動について

(3)その他

平成22年新春賀詞交歓会開催について等

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

合同役員会 (15:45~16:45)

出席者数：42名

議題：公益法人制度改革とその対応について

内容：上記議題について上原会長より説明。

但し日事連は、公益法人化・一般法人化するかについては、各単位会に任せるとの立場で、方針がはっきりしていない。まだまだ不明の点が多く、質問が出て詳しくこたえられる役員が不在。出席者による意見交換が行われたが、我々も制度をもっと学習する必要があるとの意見が大勢を占め、専門家を招き勉強会を催すことになった。ただし時期は未定で総財務委員会に一任。その後、懇親会場に移動。

年末合同役員会懇親会 開催報告



合同役員会の後、会場を横浜第2合同庁舎内にある「ココンドール」に移し、小川名誉会長の乾杯のご発声にて開会となりました。役員および賛助会員総勢約60名が集い、歓談が行われました。途中、賛助会員の紹介もあり本会役員同士や賛助会員との交流も深まったとても有意義なひと時でした。その後、語り足りない仲間たちは、冬空のしじまに消えて行きました。準備から片付けまで事務局の皆様ご苦勞様でした。

神奈川建築コンクール 一般建築物部門

神奈川県建築士事務所協会賞

『七沢希望の丘初等学校』

設計者 中村勉／中村勉総合計画事務所

今回は一般建築部門を紹介させていただく、本年度一般部門は40作品の商業施設、生活施設、厚生施設、教育施設の応募があり、書類審査選考により16作品の現場審査が行われた。今回紹介する作品は一般部門の最優秀賞を受賞した作品であり、事務所協会賞を贈呈した作品である。

神奈川県の県央厚木市の北部緑豊かな七沢の丘の上に建つ建物で、県道から市道へと進路を変えて坂道を登るとその建物は現れる。

こんなところに学校が？・・・そんな立地条件の中に設計された建物であった。

一般部門の審査員の方々からお話をお聞きし、また建築雑誌の写真を思い出しながら現地を見させていただいた。ちょうど父兄の方が車で迎えに来ておられていた。

建築主の30年に及ぶユニークな幼児教育からの経験から持つ教育理想から設計者は敷地選びから参加されたそうである。県産材を用いた



大きな木架構によるジグザグとした屋根、ワンルーム状につながったコンパクトな平面構成すっきりとしたエレベーションまさに建築主と設計者の考えが形となり施工者が作り上げた作品であると思われた。

木の持つ暖かさにふれ毎日を過ごす児童たちは、心やすく思いやりのある暖かな人になってゆくのであろうと感じた自分がそこにいた。

(厚木支部 吉川 昭)

9



撮影者 堀内 広治

シリーズ 名経営者の建築と風水(1)

《松下幸之助氏から学ぶ》

県西支部 稲葉 勉

設計を頼まれる際、お客様自身が家相や風水を気にし本から学んだりまた風水師に依頼する事が実際にあります。せっかく建てるのなら運のよい家、儲かる仕事場にするために一般的設計よりもそちらを重視したいと思っている人がほとんどなのかもしれません。

家相や風水の一般的な書物は出回っていますが、しかしあくまでも占いごとで、それが本当に効果があるのかはよく解りません。それならば実際に成功を取っている著名な方々から家相や風水を読みとれば、何か一定の法則が存在しているのではと思立ちました。

そこでいわゆる成功者、角界一流強運の著名人がどのような考えで自分の建物を建てその土地を選び暮らし、強運を育ててきたのかをひもといてみれば、本当の意味の家相や風水に迫れるかもしれません。

今回は、経営の神様《松下幸之助氏》に焦点を当てました。

数々の著書から拾い出し6項目にしてみました。

(パナソニックHPより一部抜粋)

1. 松下氏と鬼門 2. 松下氏と便所掃除 3. 松下氏と高野山 4. 松下氏と運 5. 松下氏と日本の建築と日本の庭園 6. 松下氏と心

1. 松下氏と鬼門《パナソニック企業情報HPより抜粋》

幸之助氏は門真の土地を買収したが、他人から北東の方角は「鬼門」といって縁起がよくないと言われた。しかし幸之助氏は「鬼門で大成功して迷信を打ち破ってやろう」という気持ちが沸き上がり、この地で実際に大成功を取る結果となった。結局は風水や家相・方位うんぬんよりも、まず、土地を愛し、人を愛する事、地と人との「共存共栄」が一番の開運を呼び込む事だという事を松下幸之助氏は「肌で感じ取っていた」ようだ。



2. 松下氏と便所掃除《

社内で誰も嫌がって年末掃除をしなかった便所を「便所はみんなが使う、自分たちのものである。それを掃除するのに、何の理屈があるものか! たとえ仕事ができても、常識的なことや礼儀作法が解らなければだめだ」と言い、松下氏自ら便所掃除をした。

3. 松下氏と高野山《

松下氏は、高野山に参詣して「心引かれるもの」を感じ、この霊域に、物故従業員の慰霊塔と先祖の墓碑を建てたいと考え、実践した。トイレにも先祖にも「感謝の気持ち」掃除と先祖供養は風水の基本である。この基本を松下氏は自ずと実践していた。

昔から今に渡るすべてのものに感謝して素直に物事を見るという事だ。

4. 松下氏と運《(PHPホームページより)

「商売がうまくいかないのは、時勢でも運でも何でもない。その経営の進め方に当を得ていないところがあるからだと考えなければならない」と幸之助氏は語っている。やる事もやらないで「運」とか「風水」とか言うんじゃない。しっかりやったら、その後初めて運がついてくる。

5. 松下氏と日本の建築と日本のガーデニング《

現在パナソニックグループの迎賓館として使われている、「真々庵」に松下氏の神髄が見られるという建物がある。この「真々庵」など「茶室や日本庭園・禅」に小宇宙を感じ、自分の我では無く森羅万象宇宙の根源を感じ素直な心で「ワンネス」という感覚を得ていたのではないかと思わせる文章が多数あります。この庭は彼の思想であるキーワード「素直な心」の原点を形にしたようだ。「真々庵」(しんしんあん)という名称は、真実真理を探究する道場であること、辺りがシンシンと静かであることなどの意味を重ねて、本人が命名した。



6. 松下氏と心《(PHPホームページより)

一切を許し入れる寛容さ、物事の実相を正しく見、その価値を正しく認識して道理を知る心こそ“素直な心”なのである“とらわれない心”といってよい。素直さを失ったとき、逆境は卑屈を生み、順境は自惚れを生む。-松下氏の風水の基本は「素直な心」肌で感じるものにあるようだ。

著書の紹介 松下幸之助著

素直な心になるために

(PHP研究所)

江口克彦著

松下幸之助 散策・哲学の庭

(PHP研究所)

第1回 神事協 歌壇・俳壇

【俳句】

もみじ舞う都大路に五重塔

仕分けされ小遣い削減年の暮れ

初日の出皆の願いは元に帰す

ビンビール茶碗の湯気と並びける

(川崎支部 雲休)

(横浜支部 川島良夫)

(相模原支部 日光)

(事務局 走友)

【短歌】

踏む音が冬の訪れ伝え来る黄色い銀杏愛らしき哉

(横浜支部 良光)

そこかしこイルミネーション鮮やかな光は皆に降り注ぐべき

(横浜支部 良光)

さぞんかのこぼれる路の2番坂棟おさえ立ち風見鶏行く

(川崎支部 雲休)

あの頃はこの字この線あの人だ図面に読めた設計の意気

(横須賀支部 小泉 厚)

光とオステンダグラスヴェォーリズの百貨店をもしばし忘るる

(横浜支部 アキアカネ)

【川柳】

世の中の暗さで我が家の幸を知る

大変動新しき光大感動

ついてない改札前が止められる

股抜け今日も確保のツウシート

向き合いて頭を垂れる正倉院

(横浜支部 川島良夫)

(相模原支部 日光)

(事務局 羽賀幸治)

(事務局 走友)

(横浜支部 アキアカネ)

※作品を募集中です。事務局（担当：野口）までお送りください。

第1回神事協サロン 開催報告

広報情報委員長 佐藤 光良

12月2日の夜、初めてのサロンを会の会議室で開催しました。酒肴は、ガウディのサグラダ・ファミリアの彫刻家で有名な外尾悦郎先生から戴いたスライドです。ガイド役は、20年程前にバルセロナに一週間滞在し、ガウディの作品を見て回った名取横浜支部長です。15人の会員が集まり、ビール片手にサグラダ・ファミリア教会の65枚のスライドを楽しみ、1時間の初冬の夜長が和気藹々と過ぎて行きました。外尾先生のスライドには、さすがに現場の間で

なければ撮れないショットが何枚もある貴重な資料で、今更ながら譲って下さった先生に感謝です。（配布資料のCDの補足説明はArgus-Eye1月号をご覧ください。）参加者の会員から、このようなサロンを今後とも開催して欲しいとの要望がありましたが、企画の棟委員長が同席されていたので、今後の宿題としてすることをお約束しました。その延長に、2次会の団欒が待ち受けて……。二日酔いにはならなかった楽しいお酒でした。

～趣味の広場～

～各地の雑煮特集～

我が故郷山形の雑煮

横浜支部 佐藤 光良

まず餅ですが、基本的には切餅を火鉢で炙ってから、お湯を通して柔らかくして雑煮に入れますが、最高なのは搗き立てのお餅です。固くなった餅を搗き立てに近い状態にするために、母は蒸し器を利用していました。熱い餅にふうふう息を吹きかけながら、手を真っ赤にして雑煮に千切って入れてくれていました。今故郷の母は病床にいますので、帰省してもおふくろの味の雑煮は食べられません。

さて、いよいよ雑煮ですが醤油味です。出汁を昆布と鰹節と鶏肉で取り、酒・味醂・塩ほんの僅か、材料は鶏肉の小間切り、牛蒡・人参・大根・高野豆

腐を4～5センチの細切りと白滝・ぜんまいを同じ長さに切り一緒に煮た後、醤油で味を調えます。食する際は、椀に雑煮汁を盛った後餅を入れ、最後に芹と鳴門の薄切りと柚子の欠片を入れて完成です。私の家内の母は青森出身ですが、白滝が入らないだけで同じ味で、家内と同じ雑煮味で良かったと思います。病床の母にもう一度食べて貰いたいと思いますが、ただ祈るばかりです。

あ～食いたくなってきた。



関西の雑煮

横須賀支部 小泉 厚

横須賀生まれの横須賀育ち、鶏だし醤油の雑煮しか知らない私に、雑煮に対する転機が訪れたのは、嫁をもらいに挨拶に行った元旦の翌日の朝でした。

嫁の実家は兵庫県西宮市。義父は京都出身、養母は島根出身。前の晩は初めての挨拶で、地元「灘の酒」をたらふく飲み、二日酔い。朝食時、「おせち」に箸が出せない状態が出てきたのが「関西風白味噌雑煮」でした。

初めて見る白味噌の雑煮、胸のむかつきを押し切ってみると、具はシンプルですが味噌の甘さが絶妙で、柔らかい丸もちはのど越しがよく、二日酔いでもお替りが出来るほどのおいしさでした。

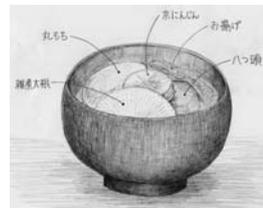
なかなか横須賀では売っていない丸もち。今では帰省した時の楽しみの一つとなっています。

ということで養母から教えてもらったレシピをお伝えします。

義父の京都の実家では、正月三が日だけは女性陣も炊事洗濯をお休みして新年を祝う習わしだったので、年末には「おせち」とともに「雑煮のもと」を準備します。具となるお揚げ、京にんじん、八つ頭、雑煮大根を昆布とかつおのだし汁で下ゆでします。白みそにもだし汁を加えて濃厚なだし汁入りみそを作っておきます。

食べる時には、人数分の具と丸もちを鍋に入れて温め、だし汁入りみそを溶いて完成。

少しもちがとろける感じで供するのがお薦めです。



田舎の雑煮

横浜支部 田岡 照良

「今度の相手は古豪〇〇高校ですがどうですか」。「知らんなあ」「うちは打って走るだけじゃ」。20数年前の甲子園での勝利監督インタビューの一齣です。その監督とは、爽やかイレブンのあと、畠山や水野を要し夏春連続優勝した池田高校の蔦監督です。郷土愛に燃える私は思わず「よっしゃ!」と叫びました。四国は文字通り、高知・愛媛・香川・徳島の四県ですが、私の故郷は徳島県です。18歳で上京し、丁度40年になりますが、その当時の週刊誌に日本のチベット池田と紹介されたほどの山国です。近くには、大股で歩くと危ない「大歩危」、小股で歩くと危ない「小歩危」や平家の落人部落「阿佐」とかずら橋のある「祖谷溪谷」など

があります。さて、雑煮の話ですが、あまり好きではありませんでした。その土地々々により中身も味も全く違います。徳島県内でも吉野川上流の三好郡（現：三好市）で育った私は味噌味しか知りませんでした。それも丸餅が一つ入っただけの質素なものでした。うどんが有名な土地柄なのか、のせる具は細く小さいネギのような「わけぎ」というものを色合わせのために長さ4センチ程度に切り、数本を餅の上ののせただけのものです。紅白の蒲鉾を入れるときもありますが、味噌で蒲鉾か餅か判りません。我が家の味噌は市販のものを使っていましたが、もう少し山間部へ行くと自宅で作ったものが多く、味はその家庭によって違っていました。

賛助会フェア 開催報告

去る12月3日(木)、横浜市中区山下町にある産業貿易センター地下貸会議室において賛助会フェアが開催されました。当日はあいにくの雨天でしたが、関心を持たれた会員の方々にご来場いただき無事終了することができました。当日は午前より15社によるPRブースの開設、午後からは4社による座学セミナーが開催され、賛助会員企業の商品や技術等を大いにPRすることができた1日となりました。

賛助会では会員の皆様への情報提供・PRを目的とした催しを今後も行っていきます。



会員異動報告	
復帰	
横須賀支部 HANF一級建築士事務所 ※平成22年1月1日より	関 ひろみ
退会	
川崎支部 一級建築士事務所(有)興房	坂本 忠弘
湘南三浦支部 黒田設計事務所	黒田 享司
藤沢支部 (有)アクア・プランニング	中村 敏之
県西支部 相建設計	服部 俊作

1月の行事予定	
1月5日	仕事始め
12日	総財務委員会
14日	正副会長会 委員長会
15日	ブロック支部委員会 木造特別委員会
20日	設計監理指導委員会
22日	賀詞交歓会(会場:ホテルキャメロットジャパン) 第7回賛助会事業計画検討会
27日	企画業務委員会 「四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約書類改正、同解説書改訂」及び「民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款改正、同解説書改訂」講習会 (場所:横浜市開港記念会館)

会 勢 平成22年12月11日現在					
支部名	3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	276	276	10	10	0
川 崎	89	91	5	3	2
横 須 賀	60	59	2	3	-1
湘 南 三 浦	23	23	1	1	0
藤 沢	23	21	0	2	-2
鎌 倉	29	30	3	2	1
茅ヶ崎葉川	17	17	0	0	0
平 塚	21	21	0	0	0
伊 勢 原	7	8	1	0	1
秦 野	17	17	0	0	0
大和綾瀬	20	22	3	1	2
厚 木	33	36	5	2	3
座 間	11	10	1	2	-1
海 老 名	15	15	1	1	0
愛 川	9	8	0	1	-1
相 模 原	86	87	2	1	1
県 西	56	52	1	5	-4
合 計	792	793	35	34	1
賛助会員	55	64	13	4	9

編集後記 明けましておめでとうございます。早いもので、広報情報委員となりまして半年がたちました。普段文章を書くという機会がない中、楽しみながら委員会に参加させてもらっています。ある著名な発酵学者は文章により、「食べてみたい。」「よだれが出る。」と思うような表現を心掛けているそうです。是非、私も、仕事の合間に気軽に読め、「行ってみたい。」「見てみたい。」「知識・情報を得られた。」と思われるような記事を提供できたらと思います。本年も昨年に引き続き「kanagawa」をよろしくお願いします。(横須賀支部 小泉 厚)

かながわ 平成22年1月号 (通号339号)

定価420円 (消費税込)

発行 平成22年1月1日 (毎月1日発行)
 発行人 上原 伸一
 発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
 第3不二ビル2F
 TEL. 045-228-0755
 FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

担当副会長 小林 忠志
 広報情報委員長 佐藤 光良
 広報情報副委員長 吉田 宣郎
 広報情報委員 稲葉 勉
 恩田 耕爾
 後藤かをり
 竹尾 秀一
 野口 友弘
 川島 良夫
 遠藤 世一
 小泉 厚
 杉崎 雅治
 新倉 良一



会員の皆様へお役立ち情報を提供しています

ホーム

賛助会施工事例

賛助会概要

会員一覧

会員紹介

出前セミナー

最新施工事例-プラン



阿部興業 木製建具・ドア

「建具」「ドア」のエキスパートとして60年以上の歴史を持つ企業です。その専門メーカーとして、住まいづく...



ハマネン ハマネンモレュー

①FRP防水の金属折板屋根を対象とした浄スルーフ施工
②屋外トイレ製造及び販売を主な事業としております。



ビィック 表面波探査法地盤調査

表面波探査法による地盤調査のご提案と地盤に関する無料相談を承っております。地盤に関する不安はまずビィ...



神奈川県建築士事務所協会 賛助会ホームページへようこそ！

本サイトは神奈川県建築士事務所協会の会員様へ賛助会でお手伝いできる内容を掲載しております。

トピックス YAHOO! ニュース
・14年移設は努力目標 防衛相

お知らせ

2009年12月1日 ホームページをリニューアルしました。

賛助会ホームページをリニューアル致しました。
会員の皆様へお役立ち情報を提供して参ります。

対象エリア: 神奈川県



携帯からも簡単アクセス！

弊社の施工事例やイベント情報などの情報が満載です。QRコードから、今すぐアクセス！
[URLを携帯に送る](#)

プライバシーポリシー | 利用規約 | ゼルマガ解除

社団法人 神奈川県建築士事務所協会 賛助会 神奈川県横浜市中区不老町3-12 TEL:045-228-0755 FAX:045-212-3807

[にっこり住宅ナビ\(当社ページ\)](#)

[ログイン](#)

Copyright (c) 2009 社団法人 神奈川県建築士事務所協会 賛助会

賛助会のホームページが
リニューアルしました。

※会員の皆様のアクセスをお待ちしています。

- ・ホームページ上からカタログ資料の請求ができます。
- ・最新建築関連情報を月次で更新いたします。
- ・セミナー情報、展示会情報を随時更新いたします。